

「じゃがいものうち」通信 NO.60 2009.3.23

～障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:http://www.minc.ne.jp/~npo-jaga 代表 松田正

笑えない笑い話

近頃は自分の目を疑うような出来事がいっぱいあります。

介護保険で四月実施予定の要介護認定の新方式に伴い、利用者から聞き取り調査をする際の判断基準が大きく変えられ、重度の寝たきり状態の人などが複数の調査項目で「自立（介助なし）」と認定されることがわかりました。認定の軽度化に拍車がかかり、利用者の生活に深刻な打撃を与える恐れがあります。

要介護認定は、介護保険サービスを利用するために必要なもの。認定調査員による聞き取り調査と主治医の意見書に基づいて行われます。その聞き取り調査の方法や判断基準を示した『認定調査員テキスト』には大幅な変更が加えられています。

「移動」「移乗」の調査項目では、移動や移乗の機会がない重度の寝たきり状態の人でも、従来なら「全介助」と判断されました。ところが新テキストでは、介助自体が発生していないとして「自立」を選択するようになっています。（下記注参照）

「食事摂取」の項目でも、食べ物を口にできず高カロリー液の点滴を受けている人の場合、食事の介助が発生していないとして「全介助」から「自立」へと変更されます。全く信じがたいようなことですが事実です。

症状の重い利用者を「自立」と判断する、逆立ちした基準です。実際にかかる介助の手間が変わらなくても、基準を変更することにより要介護度が下がる。できる限り要介護認定を引き下げ、サービス利用を妨げる。あまりに見え見えの改悪です。

社会保障費の削減といってもこのような乾いたタオルさえ絞るような削減、これは削減じゃなく切り捨てです。

（注、介護保険最新情報Vol.66-3月16日では「介助されていない」を選択に見直され、翌17日発表のVol.67では、褥瘡防止のための体位交換やシーツの交換で介助が行われていれば「全介助」を選択するよう示す予定ですとの通知が出されました。）

（松田正）



閑話休題

◇素敵な人たちが訪問して下さいました。



3月11日 いつものように8時過ぎに出勤してくると、

「みんなのうちに」の近くを見たような顔の人が...

自信がなかったので、スタッフに確認した後、

『三好さんですか?』と訪ねたら、

『はい、谷川さんも一緒です』と言われ

谷川俊太郎さん登場!

『下村さん、村瀬さんも一緒です』

三好さんとお茶を飲み、利用者さんを迎えに行き、

戻ってくると、ご一行が中を見学中!今回はプライベートな旅行とのことでしたが、一緒に写真を撮らせてもらいました。

左から（座っている人）

村瀬孝生：社会福祉士 宅老所「第2よりあい」 著書「ぼけてもいいよ」

谷川俊太郎：詩人 「二十億光年の孤独」「死んだ男の残したものは」他多数

下村恵美子：社会福祉士 宅老所「よりあい」

雲母書房の方

三好春樹：理学療法士 「生活とリハビリ研究所」開設、介護関係の著書多数

（松田正）

みんなのおうちコーナー

利用者さんの声

「おはようございます」明るい笑顔で玄関の戸が開く。優しい笑顔の松田さんのお迎えだ。私達二人は喜んで車の人となります。

老人カップルで、ここ「みんなのおうち」に御世話になって二ヶ月余り、私達は変わりました。主人も散歩にもよく連れて行って頂き、ランドゴルフもはじめました。私も始めようと思ってます。色々とおたたくい態度で接して頂き、私自身も殊の外笑顔が増し、ほがらかになり、物事に拘泥しなくなりました。家族にもあたらなくなりました。これも偏にあたたかいやさしさを受けて変わったのです。お二人の女の方の純粹さと、いつも変わらないやさしいまなざしに癒されての結果なのです。有り難いものです。娘も喜んで帰りを迎えてくれます。

ここへ御世話になったお陰で私達は救われました。先輩利用者の水生輪君の賢明さ、そして筋の通った立派な意見にも脱帽です。年ばかりいった私は恥ずかしい様です。

マージャンをしたり風船とばしは特に二人の大好きなゲームです。興じると時を忘れてしまう様です。「時よ止まれ」なのです。身体に良い体操もやります。はじめて私も足浴をして頂ける様にもなりました。

拙文ですがボケ防止にはじめた自分史もこの机で整理も落ち着いて出来ます。とにかく明るく楽しく過ごせる世界が出来、幸せ感謝です。老いては居ますがまだまだがんばります。ご期待下さい。

終わりにあたたかいボランティアの方達の主人を立てて下さるご配慮が嬉しいです。有り難うございます。

今後共この二人よろしく御願います。

(古居一男88才 節子86才)



マックのパソコンを一緒にしてくれる人いませんか？(楯水生輪)

スタッフの声

利用者さん一人ひとりが趣味・特技を持たれています。老いや病の不安を抱えながらも楽しく生きようとのパワーに学ばせていただく毎日です。そして、力不足のスタッフを支えて下さるボランティアさん、ありがとうございます。(松田咲美)

あれから...、いつの間にか冬が過ぎ、「みんなのおうち」にも春告鳥の鳴く春がやって来ました。散歩の好きな私は、利用者の方と外へ出かけるのがとても楽しみなのです。部屋の中から外へ出ると皆さん、とてもよくおしゃべりされるのです。これにはビックリしました。戦争の話や若かりし頃の話がされているときの表情はとてもイキイキしています。時には私の方が話に夢中になり、「危ないですよ」と車が走って来るのを気遣ってもらった場面もありました。ゆっくり歩くことを日々重ねてゆくと今まで「フーフー」言っていた坂道が、いつの間にか休憩なしでのぼれていたり...。ほんの小さな変化がその中でよく解るのです。みなさんも散歩をしている私たちをみかけたら声をかけてみて下さい。

さて、このところ「みんなのおうち」ではやっていることが2つあります。

マイブーム はなんとと言っても風船バレー!!

これにはまいった。「いやー、私はやめときますよー」と言っていた人が目の前に飛んできた風船の誘惑に負け、ちょいと手を出したが最後その魔力に引き込まれ、我を忘れて「コリャー!」「エーイツ!」と風船をバシバシたたき合う姿はけっこう「すごい?」かも...

マイブーム マージャン!

この年になって初めて参加したマージャン。星野名人の指導のもとわけもわからずジャラジャラーとやっている中で、皆の痛い視線を浴びつつも連勝してしまった私はひそかに、「これは お・も・し・ろ・い!!」深みにはまる一歩手前です。引き返すなら今のうちだ!

気がついてみると、私も今まで知ろうとしなかった自分に出会ったりしています。これも利用して下さっているみなさまのおかげです。本当にありがとうございます。そしてこれからもみんなと一緒に「子供の頃の心」に返って無心に遊びましょう。(若返りの「みんなのおうち」スタッフ 長瀬富美子)

安房小福祉交流会が無事終了しました



安房小6年生の総合学習の時間を使った福祉交流会、この度のタンカンジュース作りを最後に無事終了致しました。一年を通して6回の交流の場を持ちました。「体験をしながら福祉を学ぶ」がねらいでした。生徒たちにはどのように伝わったのか少し心配でしたがとても良い作文を書いてくれました。

39名全員の感想文を掲載したかったのですが、紙面の関係上3名の生徒さんと担任の先生だけにさせていただきました。

安房小6年生の皆さん、本当にありがとうございました。

福祉

“福祉ってなんだろう”から始まりました。「じゃがいものおうち」の人々との交流は、楽しくて、明るくて、あうたびに元気をもらえる人達です。一番最初会った人は、楯みぎわさん親子です。みぎわさんは、のうせいまひと言う病気にかかっていた。みぎわさんはベットにねたきりの毎日です。でも毎日楽しいと言っていました。ぼくも毎日楽しいですが学校はきらいです。その後もいろいろな人の話を聞きましたが、みんな一つだけいっしょのことばを言っていました。「みなさんも、一つだけでいいから好きなことをみつけなさい。」ということでした。ぼくは、その言葉を聞いて本当にやりたいことをみつけようと思いました。福祉は、人と人が助けあえるようになるためのかけ橋みたいなものだと思います。

「福祉」じゃがいものおうちの人たちと...

私は、一年間「じゃがいものおうち」の人達と交流をして、たくさんの事に気付く事ができました。「じゃがいものおうち」の人達は、私たち以上にいきいきしてびっくりしました。私はどのように接すれば良いか、分からなかったけど、「じゃがいものおうち」の人達は、自分からやさしく話しかけてくれてとてもうれしかったです。じゃがいも植えやタンカジュース作りなどは、良い経験になりました。

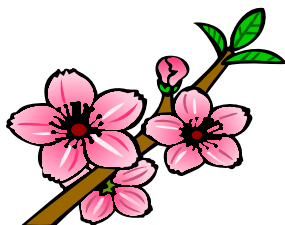
また、目・耳の不自由な人達とも交流ができました。目の不自由な人は、目がみえなくても自分のできる事は自分でしたり、何事もあきらめない心を持っていました。アイマスクをして体験してみると、真っ暗でこわかったです。そして、耳の不自由な人は手話を覚えていて、私も覚えてみようと思ったけど、なかなか覚えられなかったです。目の不自由な人には、さわったり、声を出すことが大事です。耳の不自由な人には手話以外にも口話やメモを書いたりするのが大事です。なので、このような事を守って手助けをしていきたいです。じゃがいも植えでは、じゃがいもの切り方や、植え方をやさしく教えてくれて、上手にできました。

タンカンジュース作りでは、初めての事ばかりでどのようにすれば良いか分からなかったけど、「じゃがいものおうち」の方々の作業を見ているとすぐ覚えられました。みかんをゆでたり、きれいな皮のむき方などが分かったので、勉強になりました。自分たちが作ったジュースがもらえたので、うれしかったです。

休けい中には、お笑いもやってくれてとてもおもしろかったです。

そして、一番の課題、福祉とは何かについても、よく分かりました。「福祉とは心。人を愛する心。」だそうです。

障害は不幸ではないのです。私は、そういう人たちを理解して、手助けをしていきたいです。



目の見えない人との交流

1月25日に目の見えない人との交流が総合学習でありました。そのときに私は、教室までつれていく担当になりました。しのみやさんをつれていってあげました。私は、しのみやさんに、「階段やだんさがあつたらいってくださいね。」といわれて、そうやっていけばわかるんだとはじめてわかりました。そして授業をしていたら、目の見えない人は、困っていることがあると感じました。実際にアイマスクをして学校を歩いてみて、目の見えない人が歩いていてだれかに助けてもらわないと暗くてこわいのが自分でも感じました。

この一年間、「じゃがいものうち」の人たちと学習をして知らなかったことがわかって、とてもいい思い出などがいっぱいできてよかったです。

じゃがいものうちとの交流を通して

一年を通して、安房小の6年生は福祉について学習します。そこで、本やインターネットで調べるだけでなく、実際に福祉とは何かを体験した方が良いのではないかと提案を楯さんからいただきました。最初、子どもたちは障害を持っている方々に対し「かわいそう」というイメージを持っていました。しかし、直接話したり活動を共にすることで「すごい人達」に変わっていました。「じゃがいものうち」との交流を通して「まず知ること」の大切さに気づかされました。そして、障害を持った方々に何をしてあげるかということを一方向的に考えるのではないことを教えてもらいました。安房小6年生のため、「じゃがいものうち」の方々が全面協力して頂き、本当にありがとうございました。
(担任 松本 太平)

行事報告

もちつき

えっ、そんなに早くと驚いた12月22日の餅つき!! 今年は「手をつなぐ育成会」との交流に変わって、「みんなのうちの」行事の一つに組み込まれました。「みんなのうちの」駐車場にて振る舞い餅10kg4臼でした。数年来の伝統行事、手際はさすがです。通りがかりの人たちも加わり蒸す人、搗く人、手水とる人、丸める人。ヨイショー、ペッタン、ハイとリズムに乗る組、エ〜イと力一杯振り下ろした杵が臼の縁を直撃する人、へっぴり腰の搗き手への応援等賑やかな中、もろぶたの中には、少々不揃いのお餅が並んでいきました。「みんなのうちの」利用者さんも玄関ごしに眺めたり、つきたてを丸めたり、嬉しそうでした。昼食はお餅と豚汁、差し入れの品あれこれで堪能しました。地元産のお米で少し色黒硬めで、もち肌のようなお餅とはいきませんが...「じゃがいものうち」にはこれが似合ってる?



(松田咲美)

☆おおぼらかい

12月23日(火)お正月を迎える為のしめ縄づくりを小笠原さんの指導の下で行いました。参加者の皆さんは縄をなうのに苦労していましたが、完成した作品を見てこれでお正月を迎えられると喜んでいました。

1月27日(火)星野さんによる独演会「良寛さまと貞心尼の恋」には、多くの人達が参加して、往時の年齢差を超えた二人の愛を語る名調子に聞き入っていました。

“小笠原さん、星野さん”お疲れさま。そしてありがとうございました
2月24日(火)茶話会(前回の独演会の感想他、カラオケなどで盛り上がりました。)
(高見澤義男)



新年茶話会 1月4日(日)「じゃがいものうち」

恒例になっている新年茶話会。今年はいつものメンバーが都合で出席出来なくさびしくなりそうでしたが、新しい会員さんが来てくれました。おかげで和気藹々とした茶話会が今年も出来ました。

しゃくなげ未来館との交流会

2月5日(木)に「じゃがいものうち」から5名の方が参加しました。始めにみんなの緊張をほぐすために紹介を兼ねて色々なゲームをしました。その一つで「誰々さんに何をしたい」、「誰々さん何々してくれてありがとう!」というやり取りゲームで場も和みました。みんなの気持ちもほぐれた頃には昼食のカレーライスづくり。じゃがいもや人参の皮を剥いたり、包丁で適当な大きさに切ったり楽しく賑やかなうちに完成。サラダ付きで美味しくいただきました。しゃくなげの方たち、ボランティアの皆さんありがとうございました。これからもお互いの交流を深めましょう。(高見澤義男)

タンカンジュース作り

「じゃがいものうち」の最大の行事となっているタンカンジュース作りが無事終わりました。

2月22日(日)~25日(水)、3月10日(火)~12日(木)の7日間で延べ人数196人(この中には安房小6年生の福祉体験40人を含む)の参加を頂き、ビン6846本、一斗缶12缶のジュースが出来ました。

「じゃがいものうち」は無論のこと、「しゃくなげ未来館」の利用者と支援者、屋久の水、その他大勢の方々のご協力を得ることが出来、心より感謝!!!です。朝早くから夕方まで(男性軍は夜まで)、本当にお疲れ様でした。

メンバーが段々と高齢化し、“疲れる”という声も聞かれましたが、その場では何のその。パワー全開のフル回転でした。(四宮英代)



ウコン、ガジュツ収穫作業

2月上旬、2008年のタンカンジュースが完売して、春ウコンも在庫が少なくなりました。

そんな時、利枝子(日高イツ)宅と岩川美意子さん宅の畑にウコンがあり、いただくことになり、収穫をしました。育成会の応援を得て、午前中は日高宅、午後からは岩川宅の収穫作業をしました。ありがとうございました。まだ、今年の植え付け作業が残っております。皆さんもいい汗をかいてみませんか?(ミスターブー 渡辺一夫)



豚味噌作り

11月に仕込んだ麦味噌がもうそろそろ良い感じになってきていますので、いよいよ豚味噌の試作をしてみようと3月16日にぼんたん館で隊員4名と、なんと東京農大で講師をされている松本栄文先生を迎え、指導をして頂きました。「せっかく作るのだから目標を高く持って、最低でも“農林水産大臣賞”を取れるような豚味噌にしましょう」と話されました。食材や料理の専門的な話だけでなく、販売方法や使う包装がただその時だけの使用で終わるのではなく、後利用のことまで考えることが大切と、幅広い指導をしていただきました。

いよいよ販売に向け製造が始まります。その為には、製造業の許可や多くの人の目に止まるような装丁などの検討をこれから進め、5月の連休までに販売できるように計画していきます。

製造部員を募集しております。福祉&地域興しの豚味噌計画に参加してみませんか。(楯篤雄)

行事予定

総会

[予定] 5月17日(日)午前10:00~「役場尾之間支所4F町民ラウンジ」

ウコン、ガジュツ植え付け

3月下旬~4月上旬 「新里自動車下の畑」

おおぼらかい

毎月第4火曜日「みんなのうちに」

手をつなぐ育成会便り 交流クリスマス会



今年は毎年行っている餅つき交流会が出来なく、さびしい思いをしていました。なにか年末の行事をしたいと思っていたら、「屋久の郷」と何か計画すれば、育成会だけでなく、精神障害の方達との交流が出来そうとひらめいたのがきっかけで、急ぎよ相談したところ「待ってました」といわんばかりに、わずか一週間の動きで「交流クリスマス会」が実現いたしました。

12月20日(土)、場所は「屋久の郷」コミュニティー室で行われました。司会進行から挨拶、出し物、すべて屋久の郷の利用者さんや会員の手で進められました。関係する方々や応援して頂いている方々からたくさんプレゼントを頂き、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

このクリスマス会を行って、障害の種別を超えて交流が出来たこと、屋久島の中にもたくさんの障害を持つ人がいることが解りました。

「屋久の郷」が出来て、今まで家族とだけの関わりだったのが、毎朝家を出てたくさんの仲間たちと共に働く事が出来るようになり、その嬉しい気持ちが笑顔として表れておりました。

まだまだ家に閉じこもっている人たち、でてこーい。

(楯篤雄)



子持ちギャルのひとこま見聞録

「おかげさまで無事出産しました」の巻

平成20年12月13日、3902グラム、家族が見守るなか元気な男の子が誕生しました(4人目)。たくさんの笑顔で育ちますように、自分も和やかに、周囲も和やかに。そんな気持ちを込めて、『和也』と名付けました。

しかし!いや~、40歳を目前にした妊娠、出産は思っていた以上に難儀で、母ちゃんは和やかにいられない事も多々ありました。特に妊娠中の痔には、本当に泣かされました。桂枝加芍薬大黃湯を飲み、玄米やこんぶを食べ、患部にはボラギノールを塗り、ホカロンをお尻にべたっと貼ってしのぎました。陣痛も長引きました。デカイ子でしたので、いよいよ出て来る時も大変でした。でも、今になっては痛みや辛さもいい思い出です。が!妊娠、出産はもう懲

り懲り!次は孫でいいです(笑)。

7年ぶりの久々の赤ちゃんのいる生活です。昔ながらにおっぱいだけで育て、布オムツをしています。この布オムツは長男の時(現在18歳)から使っています。なんだかもう臭いがとれなくて、いつもオシッコ臭いです。おっぱいもたっくん飲みます。だから、よく逆流し、レロレロ~っと口から乳を出して和也の服も私の服もいつもよごれています。キレイにキレイに育てないのが私流です。そうそう、おしりふきには古着を裂いて使うと便利です。おなかがすいては泣き、オシッコしては泣き、眠くては泣き、だっこしてほしくて泣き、ゆりかごが止まっては泣き、泣き、泣き...。大変そうでしょう。でも、この「大変」が幸せなんです!

もうすぐ3ヶ月になる今では、首もすわり、キャッキヤと声を出して笑うようになりました。「じゃがいものおうち」の皆さんには、私の子どもたちの成長をいつも見守っていただき、とても感謝しています。長男が不登校になった時は、皆さんで支えて下さいました。その長男も、この春社会人となります。これからも、この子持ちギャルの子どもたちを見守っていて下さい。「みんなのおうち」の皆さんも宜しくお願い致します。

えっ!ギャルじゃないって?いいんです。気持ちはギャルなんですから。(鈴木裕子)

和也君
→



喫茶コーナー



♡ありがとう、ありがとう、ありがとう！

屋久島に移って来る時に、屋久島では畑と陶芸をしたいと思っていました。しかし、その生活は家の中だけで完結してしまい、社会との関わりを持ってないのが気がかりでした。そういう課題を残しつつ8年前に屋久島に移住してきました。

引っ越して間もないころ、「じゃがいものうち」の喫茶の前を通りかかったときに松田聖子ではありませんが「ピ、ピ、ピ」ときたのです。「ここで、週2回働きたい！」と強烈に思いました。それから、3年後。「喫茶を週2回お願いします。」という話がきたときはとても嬉しかったです。と同時に、願いが叶ったことにも驚きました。

それから、4年と4ヶ月が経ち、引退することになりました。私は人恋しいタイプなので、辞める決心がなかなかつきませんでした。しかし、屋久島暮らしも8年経てば、だんだん忙しい生活になります。足が2本しかないのに「喫茶」「陶芸」「畑」という3足のわらじは無理だと判断しました。幸い、今の喫茶は事務局の支えもありとても安定していますので、「辞めるなら今だ。」とわがままを言わせてもらった次第です。

喫茶では多くのお客さんに出会えて幸せでした。また、心を割っているんな話をしてくださったり、多くのことを教えていただきました。(守秘義務がありますので、具体的には書けませんが・・・)本当に、有難うございました。喫茶で働いていた期間、「じゃがいものうち」のメンバーにも様々な場面で支えてもらいました。有難うございました。

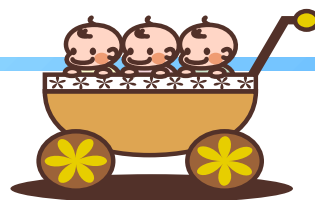
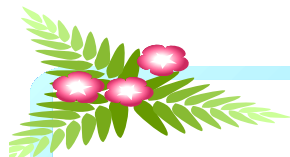
最後に、私とコンビを組んでいた浩二さん、あなたと一緒に仕事ができて最高でした。実に多くのことを教えてもらいました。何度も何度も心が慰められました。本当に有難うございました。(松本活栄)

♡はじめまして。

毎週土曜日、「じゃがいものうち」の喫茶室を私が担当することになりました。ふうちゃんとか、ふうこちゃんとか呼ばれてます。

出身は横浜です。地球温暖化という状態を知って、自分の生活を改めて見直した時、大切な自然の存在に気づきました。もっと自然を身近に感じたいと思い、屋久島に去年の4月頃やってきました。はじめの3ヶ月は「屋久島ユース」で働いていました。その後、湯泊にあったカフェ「グリーンシャワー」で働いて、今は「よかたん豆腐」で働いています。豆腐屋では揚げ場と販売を担当しています。人との繋がりや人の温かさが身にしみます。

今、興味のあることは野菜を育てたり、料理をしたりすることです。食べることや体を動かすこと好きです。よく新鮮なお野菜を頂く機会があって、立派で美味しくて、嬉しくなります。自分でも美味しい野菜を育てたいです。いつも屋久島の風景に癒されています。何処を見ても山があり、海があり、自然のサイクルの中で生きているんだと実感する日々です。慣れるまで色々気づかない点多々あると思いますが、お茶やお話にでも、気軽に遊びに来てください。よろしくお願いします。(稲見風子)



誕生 おめでとう！

高齢化が進みつつある「じゃがいものうち」では、足が、腰が、物忘れが・・・と、うつむき加減ですが、春の訪れとともに**明るいニュース**です。

男どもには解らないそれはそれは大変な産みの苦しみを克服され、元気な男子を出産されました。ご苦労様でした。そしておめでとうございました。

和也(かずや)君 12月13日生 3902㌔ (鈴木義之・裕子夫妻 三男)
星(ほし)君 3月11日生 2800㌔ (沼田宏・澄江夫妻 長男)

新年度の会費とボランティア保険代の納入についてのお願い

日増しに春の訪れが感じられるこの頃ですが、皆さん如何お過ごしですか、日頃から、当会の運営にご協力を頂き感謝しております。皆様の会費が貴重な財源になり、お陰様でいろいろな活動を展開する事が出来ました。今年度のご支援を感謝し、引き続きご協力をお願い申し上げます。

つきましては、次年度の会費を、ボランティア保険の手続きの関係上、3月末日までに同封の口座振込用紙(払込取扱票)にてお振り込みいただくか、直接「じゃがいものうち」へご持参下さいませよう重ねてお願い申し上げます。

年会費

一般会員	一口	3,000円
(家族で二人目以降は)	一口	1,000円)
(ボランティア保険は)	一口	260円)
賛助会員	一口	2,000円
賛助団体会員	一口	5,000円

賛助会員の方もボランティア保険に加入出来ます。

“2009年製”

新作「たんかんジュース」発売中！

今年のはんかんは、鳥の被害も多かったのですが台風被害もなく豊作でした。すくすく育ったはんかんの美味しいジュースが出来ました。

1本850円 (会員価格600円)

※地方発送致します。(送料、振り込み手数料別)

発売以来価格改定せず頑張ってきましたが、諸物価高騰等に伴い、このたび価格改定させて頂きました。ご理解の程よろしく申し上げます。



☆新会員紹介 ~みなさん、よろしく~
塚田哲夫・君江さん(安房在住)

感謝録 (12月14~3月22日順不同敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものうち、みんなのうち)

中井喜恵子 畑下和子 山田由紀子 西森利江 岡村和子 日高イツ 石川美那子 太田美代子 高田勝子
安藤多鶴子 日高ユキ子 山田令子 岩川美意子 桑山道子 飯田かおる 日高弘子 鈴木裕子 富沢草太
関田彩子 戸床マサ子 山口勿津恵 川上雄治 神山小PTA 大原貞子 戸床頭 廣瀬牧子 新里綾子
稲見風子 古屋浩三 古居智子 高山宏子 永留佐代子 日高ヨリ 岩川ミヤ 塚田哲夫 日高仁 谷山四男
渡辺まみよ 梅千代会 星野京 日高豊 日高二三男 古里祐二 日高一昌 田端信明 山崎勝 遊佐さえ子
岩川チヨ 岩川滝男 泉清治 木原信 池上まち子 小川裕子 高橋ヒサ子 木下忍 日高チズ 井坪美紀

編集後記

この頃は計画的に通信発行の作業が進み、以前と比べるとゴタゴタしなくなったけれど今回はタンカンの収穫とジュース作りと重なって大変だった。結局一週間発行日を延長させて頂きました。予定通り出来なくて申し訳ありませんでした。

(楯篤雄)